提案概要 別添3

項目		応募団体 A	佐来帆安 応募団体 B
基本的な考え方	施設の性格や目的等に 合致した方針	「市民の休息・観賞・散策等の憩いの場」として、また、長府の歴史と文化を発信する「城下町	
			要な切り口として位置づけ、地域課題の解決に資する活動を通じて市民の豊かな暮らしづくりに
		を定めて一層のサービスの向上と集客力ある管理運営に取り組む。 	貢献し、長府の歴史文化を活かした観光振興を進め、地域の活性化に繋げることを基本方針とす
		基本方針】	<b>3</b> .
		人を惹きつけ、親しまれる庭園づくり	基本方針
			「市民の憩いの場として地域の入り口となる事で周辺の観光拠点とも連携した長府地区の拠点と
		づくり④城下町長府の一員としての庭園づくり⑤歴史、文化を守り、活かす庭園づくり	なる。」
		    様々な広報活動による平等な機会の提供、ユニバーサルデザインの考えに則った平等なサービス	
		「「「「「」」」	
		の提供、各種ルールを定めた公平な判断により、平寺かつ公平な利用を維体する。	上に資し、特定の団体や個人に偏ることなく、誰もが平等かつ公平に利用できる環境を整備す
		   定款、規約、令和6年度事業報告書、令和7年度事業計画等経営の健全性を公表している。	る。 定款、規約、令和 6 年度事業報告書、令和 7 年度事業計画等経営の健全性を公表している。
団体の経営状況(経営の健全性)		たが、	たが、がが、17410 千及事未報自言、1741 / 千及事未自回寺社古の庭主にでム衣している。
サービスの向上を図るための手法		<u>-</u> 長府観光の玄関口としての「城下町長府の案内人」であると考え、案内人としてふさわしいおも	・「憩いの場づくり」:居心地を高めるカフェの運営する。
		てなしを心掛けた接客を行う。	・「体験・交流」:工芸・料理・生き物採取など五感に訴える学びと体験イベントを開催する。
		 接遇の向上、商い処・甘味処サービス、開園時間延長、電子決済導入、車椅子対応、日傘無料貸	・「保存と発信」:歴史的価値を守りながら次世代に伝える市民参加型の保存活動を実施する。
		  し出し、ポイントカード抹茶割引サービス、園内お散歩コースチラシの提供、外国人観光客の対	
		応、Wi-Fi環境の整備、情報の発信	
事業計画	施設の維持管理の内容	「安全の確保」の観点から行う維持管理を基本とし、日々の点検等による「予知保全」を実施と	第3者委託は、業務分担を明確にし、適切な指導・監督体制を構築することで、安定的かつ持続
		「美観の維持」に努める。	可能な維持管理体制を実現する。
	管理に係る経費の縮減	常に効率的な運営を追求しコスト削減に努める。予期せぬコスト増が発生した場合でも、お客様	各種調達等は複数業者に相見積もりを取り経費縮減を実現する。また、人材の配置については、
	効果	へのサービス品質を落とすことなく対応する。	効率化に努め、人件費の削減に努める。
	施設の運営体制や組織	職員2名(責任者1名、職員1名)及びパートタイマーを配置する。指揮命令系統を明確化し、	職員2名(責任者、スタッフ)及びパートタイマーを配置し、各種業務を適切に実施する。
		効率的な業務遂行体制を構築する。	
	過去の実績等	長府庭園(平成5年5月~)【類似施設】長府毛利邸(平成10年4月~)	【他施設の指定管理状況】小路庵(佐賀県有田町)、旧木下家住宅(福岡県八女市)、田主丸ふ
	た	その他、市内20箇所の体育施設、その他7箇所の施設有	るさと会館(福岡県久留米市)
	環境、障害者等への配	しものせきエコマネジメントプランに基づいた「環境保全対策への取り組みの指針」を定め、環	バリアフリー情報を事前に公開し、高齢者、障害者の方が安心して利用できるよう配慮する。
	慮	境へ配慮した事業活動を行う。障害者の雇用。	
	安全管理、緊急時等	個人情報の保護の重要性を強く認識し、個人情報保護マネジメントシムテムを適正に運用する。	個人情報保護の措置は、法令やガイドラインに基づいた適切な対応を徹底し、公共施設にふさわ
		また、自然災害や事故等の緊急対応に備え、対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿った対応	しい信頼性の高い運営を行う。また、火災予防、防災対応、緊急時の避難誘導等、来館者の安全
	の対応	訓練を実施する。さらに、救命救急の知識と技術の習得に努める。	管理に係る訓練を定期的に行い、迅速に対応できる体制を整える。
		化中签用机 利田村人	化中铁油料 利田料本
		指定管理料 利用料金	指定管理料 利用料金
		令和 8 年度 32,038,000円 7,266,000円	令和 8 年度 33,190,000円 9,400,000円
経済性		令和 9 年度 32,038,000円 7,423,000円	令和 9 年度 32,590,000円 9,910,000円
		令和 1 0 年度 32,038,000円 7,593,000円	令和 1 0 年度 31,990,000円 10,420,000円
		令和 1 1 年度 32,038,000円 7,729,000円	令和 1 1 年度 31,390,000円 10,930,000円
		令和12年度 32,038,000円 7,896,000円	令和 1 2 年度 30,790,000円 11,440,000円